



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年1月13日

上場会社名 株式会社ライフフーズ 上場取引所 東
 コード番号 3065 URL http://www.meshiya.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大平毅
 (役職名)管理本部 人総部長兼広報 (氏名)森雅彦
 問合せ先責任者 室長 (TEL)06(6338)8331
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の業績(2021年3月1日~2021年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	6,447	△8.4	△996	—	△120	—	△88	—
2021年2月期第3四半期	7,037	△30.5	△909	—	△874	—	△933	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	△28.89	—
2021年2月期第3四半期	△304.99	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	6,932	2,279	32.9
2021年2月期	6,928	2,367	34.2

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 2,279百万円 2021年2月期 2,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,794	6.2	△764	—	△127	—	△368	—	△120.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	3,660,400株	2021年2月期	3,660,400株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	597,779株	2021年2月期	598,479株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	3,062,404株	2021年2月期3Q	3,061,921株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、経済活動が抑制され個人消費の落ち込みが続いております。緊急事態宣言の解除により通常営業時間への変更等明るい兆しが見え始めておりますが、変異株の感染リスクは続いており、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、在宅勤務の浸透やインバウンド需要の消失で外食需要が低迷しており、店舗においてはソーシャルディスタンス（社会的距離）による客席数の減少など厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社は、前事業年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため社内ルールの周知徹底に努めながら従業員の労働時間の短縮、雇用調整助成金の活用、設備投資抑制による資産の圧縮、金融機関からの資金の調達など事業活動継続のための施策を実施してまいりました。店舗では混雑回避や飛沫防止対策の実施、従業員の健康管理とお客様の安心・安全の確保に努めております。

並行して、全業態で宅配サービスの導入し、宅配ポータルサイト「出前館」「Uber Eats」「foodpanda」及び「DiDi Food」と提携し、新たな売上の獲得に注力しております。

当第3四半期会計期間末日の店舗数につきましては、常設店舗である寿司一番地業態が4店舗増加、賃貸借契約満了によるザめしや業態1店舗、街かど屋業態2店舗減少となった結果、期末店舗数は118店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は6,447,015千円（前年同四半期比8.4%減）、営業損失は996,433千円（前年同四半期は営業損失909,562千円）、経常損失は120,154千円（前年同四半期は経常損失874,000千円）、四半期純損失は88,459千円（前年同四半期は四半期純損失933,856千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により4,478,190千円（前事業年度末は4,509,723千円）となりました。有形固定資産は、セントラルキッチン及び飛沫防止対策等の設備投資が増加したものの、減価償却費及び減損損失を計上したことで822,703千円（前事業年度は834,798千円）、投資その他の資産は、繰延税金資産の増加等により1,563,714千円（前事業年度末は1,499,526千円）となり、資産の部合計は、6,932,684千円（前事業年度末は6,928,932千円）となりました。

(負債の部)

流動負債は、1年内返済予定の長期借入金の増加や買掛金残高の減少等により1,770,918千円（前事業年度は1,894,263千円）となりました。固定負債は、長期借入金の増加等により2,881,928千円（前事業年度末は2,666,914千円）となり、負債の部合計は4,652,846千円（前事業年度末は4,561,177千円）となりました。

(純資産の部)

純資産の部合計は、四半期純損失の計上等により2,279,838円（前事業年度末は2,367,755千円）となりました。これにより、当第3四半期会計期間末の自己資本比率は32.9%（前事業年度末は34.2%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期においても収益力の向上を計画しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による消費マインドの低下など現時点においても売上高及び来店客数等の業績に影響がでており厳しい経営環境が続いております。

当事業年度の店舗展開につきましては、テイクアウト専門店「寿司一番地」業態の新規出店と既存店売上高の回復を推進し、スクラップ&ビルドにより新規出店4店舗、閉店4店舗で当事業年度末117店舗を予定しております。

当事業年度の業績予想としましては、2021年10月14日に公表いたしました「2022年2月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高は9,794,000千円（前年同期比6.2%増）、営業損失は764,000千円（前年同期は営業損失1,215,793千円）、経常損失は127,000千円（前年同期は経常損失1,166,698千円）、当期純損失は368,000千円（前年同期は当期純損失1,693,489千円）を見込んでおります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,019,490	4,113,944
売掛金	42,347	90,326
商品	194	164
原材料及び貯蔵品	51,893	56,126
その他	395,797	217,627
流動資産合計	4,509,723	4,478,190
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	733,953	739,092
その他	100,844	83,610
有形固定資産合計	834,798	822,703
無形固定資産	84,884	68,076
投資その他の資産		
差入保証金	815,687	777,555
繰延税金資産	388,357	500,431
その他	295,991	286,237
貸倒引当金	△510	△510
投資その他の資産合計	1,499,526	1,563,714
固定資産合計	2,419,209	2,454,494
資産合計	6,928,932	6,932,684
負債の部		
流動負債		
買掛金	468,305	300,667
1年内返済予定の長期借入金	568,582	741,615
未払法人税等	19,388	28,405
その他	837,987	700,229
流動負債合計	1,894,263	1,770,918
固定負債		
長期借入金	1,881,373	2,070,138
長期預り保証金	45,555	45,555
退職給付引当金	571,083	601,359
役員退職慰労引当金	30,518	30,401
その他	138,383	134,472
固定負債合計	2,666,914	2,881,928
負債合計	4,561,177	4,652,846

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2021年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,276,053	2,422,048
利益剰余金	△854,004	△88,459
自己株式	△154,293	△153,751
株主資本合計	2,367,755	2,279,838
純資産合計	2,367,755	2,279,838
負債純資産合計	6,928,932	6,932,684

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	7,037,679	6,447,015
売上原価	2,300,892	2,152,856
売上総利益	4,736,786	4,294,158
販売費及び一般管理費	5,646,349	5,290,592
営業損失(△)	△909,562	△996,433
営業外収益		
受取利息	2,770	1,128
有価証券利息	788	788
受取家賃	71,384	70,981
助成金収入	—	853,390
その他	38,449	33,121
営業外収益合計	113,392	959,410
営業外費用		
支払利息	6,319	11,560
賃貸収入原価	68,336	67,713
その他	3,173	3,857
営業外費用合計	77,830	83,130
経常損失(△)	△874,000	△120,154
特別利益		
固定資産売却益	6,363	—
受取補償金	2,000	12,000
助成金収入	56,390	63,117
特別利益合計	64,754	75,117
特別損失		
有形固定資産除却損	18,579	6,699
減損損失	79,595	35,762
店舗閉鎖損失	26,159	16,233
店舗臨時休業等による損失	64,779	68,395
その他	11,750	—
特別損失合計	200,863	127,090
税引前四半期純損失(△)	△1,010,109	△172,127
法人税等	△76,253	△83,667
四半期純損失(△)	△933,856	△88,459

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年5月27日開催の第35回定時株主総会の決議に基づき、その他資本剰余金を854,004千円減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損補填を行っております。

なお、これによる株主資本の合計額への影響はありません。